

## 次期「地震予知研究計画」における電磁気全国連携課題の提案 Proposal for the coordination program of next "earthquake prediction research" based on the electromagnetic methods

長尾 年恭<sup>1\*</sup>, 茂木 透<sup>2</sup>  
Toshiyasu Nagao<sup>1\*</sup>, Toru Mogi<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東海大学地震予知研究センター, <sup>2</sup> 北海道大学大学院理学研究院

<sup>1</sup>Earthquake Prediction Research Center, Tokai University, <sup>2</sup>Graduate School of Science, School of Science, Hokkaido University

2009年度より5ヶ年計画で開始された大学の「地震及び火山噴火予知のための観測研究計画」は2011年の東北地方太平洋沖地震の発生により、その計画の大幅な見直しが外部評価委員等から求められ、現在次期5ヶ年計画をどうするかについての協議が行われている。我々は地震予知研究の本命は短期・直前予知以外にはないと主張を従来から行ってきたが、電磁気学的手法による短期・直前予知研究を実施している予知協議会メンバーは残念ながら北海道大学と東海大学だけという状況である。次期計画では、連携研究者として多くの大学からの研究者をより積極的に包含する形で統一した課題を提案していくことを考えている。それにはSEMSグループが一体となって目標に向けて行動していく事が必要となる。講演では、現在の大学の地震予知研究の現状、次期計画で我々が提案すべきプロジェクトのたたき台となる情報を提供したい。

キーワード: 地震予知, 電磁気学

Keywords: Earthquake prediction, Electromagnetics